

## 稚魚・稚ガニの成長

### ■河口域での生物の成長

先月、多数の稚魚・稚ガニが見られた七北田川河口であるが（レポート74号参照）、今月はそれらが成長した姿を観察することができた（Fig.1.2.3）。特にマゴチは数多く採集された。マハゼ（Fig.4）やクロダイクサフグも採集することができたが、これらは全て河口域であった。

干潟内で採集できたのはボラ・メナダ（Fig.5）・マルタウグイ・イシガレイ（1匹）で河口域と比較して種類・数ともに少なかった。干潟内には稚魚があまり入り込んでいないようである。



Fig.1 ヒラメ

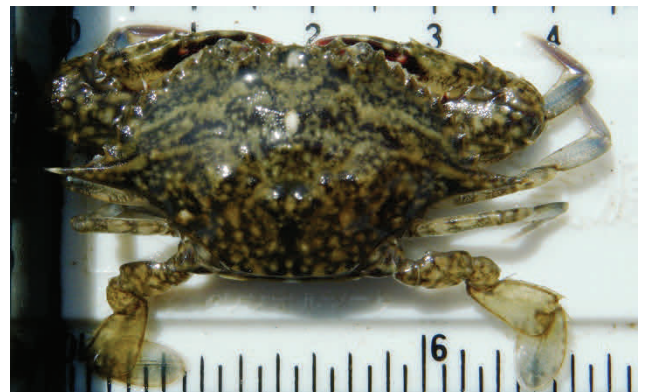


Fig.2 ガザミ

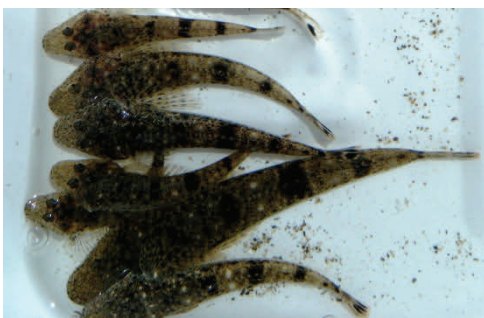


Fig.3 マゴチ



Fig.4 マハゼ



Fig.5 上 メナダ 下 ボラ

### ■残っていたイシガレイ

今年成長の遅れが目立っているイシガレイであるが、9月に入っても干潟内で1匹採集された。2011年からの調査で、9月に入ってイシガレイが採集されたことはない。今回の調査で採集された個体の全長は7cmほどであった（Fig. 6）。これまでの調査で、8cm程度に成長した個体は外海へ移動すると考えられるが、9月の時点で7cmという大きさは、今年成長の遅れを示していると思われる。

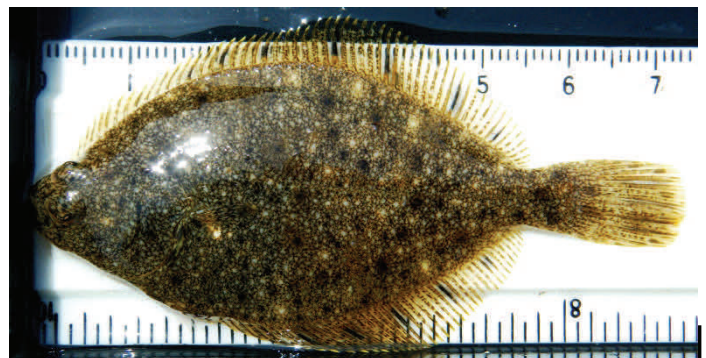


Fig. 6 イシガレイ

（佐藤 賢治）